

1月22日(月)

クモの巣

聖書朗読 詩篇 27:1~4

主は、私の光、私の救い。だれを私は恐れよう。主は、私のいのちのとりで。だれを私はこわがろう。 詩篇 27:1

クモは忙しいです！ 朝早く新聞を取りに出ると、クモの巣にぶつかります。裏庭のドアから門へ、郵便受けからトラックのミラーへ、クモの巣はいたるところにかかっています。きっとクモたちは一晩中働き続けたのでしょう。透明なクモの巣がたくさん庭を取り巻いて、まるで不思議な世界への入り口のように。クモの巣は、私の首や顔や髪の毛などいたるところに絡みつき、餌食にしようとしています。この朝、ちょっとおおげさですが、新聞を取りに行くために夫の蜂よけの防御服を着ようかしらと考えてしまいました。

さて、私たちは罪のクモの巣に、何度も遭遇してしまいます。罪のクモの巣も透明です。それは私たちをわなにかけて計略的に陥れる力を持っています。ですから、神様からのお約束のことを思わなければなりません。『主は、私の光、私の救い。だれを私は恐れよう。主は、私のいのちのとりで。だれを私はこわがろう。』

罪もクモも私にとっては何でもありません。罪のクモの巣をきれいに掃除し、心を主の喜びで満たそうと思います。

そうすれば、すばらしい気持ちになると思います。あなたはどうか。

讃美歌 327

祈り あなたのきよい血と贖いの愛をありがとう、イエス様。私を愛してくれてありがとう、神様。人生の蜘蛛の巣を私が歩き通すことができるように助けてください。

イエス様の御名において。アーメン。

ジャン・ガヌ
テキサス州 ネダーランド

今日の力

2018年1月22日～1月28日

翻訳 ゲラ弘美

編集 岩田欣三

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

1月23日(火)

ただ生きるのではなく

聖書朗読 詩篇 33:4~8

また、わたしは彼らに、わたしが主であることを知る心を与える。彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となる。彼らが心を尽くしてわたしに立ち返るからである。 エレミヤ 24:7

動植物が生きるために、また人間が快適に豊かに暮らすために必要なものを神様はくださっています。その証拠はたくさんあります。『地は主の恵みに満ちている。』(詩篇 33:5)。19世紀の牧師タルメージは、神様の恵みをすばらしい絵に描きました。そしてこう書き添えました。「神様は牡牛のために野のクローバーを甘くし、岩にある苔むした水飲み場に、クリスタルのようキラキラと輝く水を注ぐ」。不毛の北極からサハラ砂漠まで、生き物はその環境に応じて必要なものを与えられて、生きています。地球の美はボーナスです！神様は、なにも私たちを喜ばすために、数千の色や音や味を創る必要はなかったのです。でも神様は、はるかに超えた愛からそうなさいました。

これらは、私たちのたましいを満たそうとして神様が与えられた物質的な物の影にすぎません。私たちに本当に必要なのは、罪を忘れないようにすることです。イエス様は私たちの罪のために十字架にかかりました。キリストの受肉と十字架は、神様のご意思が私たちの基本的ニーズを超えていることを表しています。主は、私たちが主と交わるという、究極の経験を私たちにくださいました。自然界の命あるものはすべて、神様の究極的な善と私たちへの愛によるものです。

讃美歌 17

祈り 親愛なる主よ。あなたが私たちと永遠に深まる関係を熱望しておられるとは、なんとすばらしいことでしょう。私たちをとりまく世界に、あなたの愛の証拠を見ることができます。そのことに感謝します。
イエス様の御名のもとに。アーメン。

リサ・ラングフォード
テキサス州 ラボック

1月24日(水)

洗濯の日

聖書朗読 詩篇 51:1~12

神よ。私にきよい心を造り、ゆるがない霊を私うちに新しくしてください。
詩篇 51:10

洗濯の日がまた来ました！ 昨今、もしあなたが私のように掃除をしているなら、——私はここで少し、あそこで少しとやっています。でも、土曜日は全部ちゃんとやる日にとってあります。きれいで清潔なシーツに代わるものではありません。これこそが、詩篇が聴衆に対し歌っていることです。ダビデは神の律法を破りました。彼の心からひねり出される大きな叫びが神様にうたえています。「私をきよくし、私の汚れをおとし、赦してください！」「あなたの洗濯に私を浸してください。私をこすってきれいにし、雪の様に真っ白な人生をください」と私には詩篇の節が読めます。

ダビデのように私たちは、サタンによって汚されてしまった人生を、洗濯してきれいにしたいと願います。神様の愛と恵みによって、私たちは雪のように真っ白になることができます。主を讃えましょう。かつて私たちは罪のしみに汚れていましたが、主の血が私たちに注がれたので、それがしみを取り除いたのです。

イエス様の死が私たちを罪の汚れをすべてきれいにしてくれたのです！

讃美歌 521

祈り お父様。きよい心といつも私の心にくれるあなたの聖霊ゆえに感謝します。

イエス様の御名において。アーメン。

シェリー・リアムス
テキサス州 ラボック

1月25日（木）

信 頼 す る こ と を 選 択 す る

聖書朗読 詩篇 62編

私の救いと、私の栄光は、神にかかっている。私の力の岩と避け所は、神のうちに
ある。 詩篇 62：7

毎週の朝食の祈りでは、祈りのリクエストを分け合うので、ある同僚がこんなことを話してくれました。彼女は自分の上司と不愉快な議論をしなければならなかったそうです。それは、顧客からの一方的な不満についてでした。私たちは彼女に同情し、彼女は悪くないと慰めました。驚いたことに、彼女は冷静に落ち着いていました。そして、「私の自尊心と護りは神様にあるのです」と笑顔で言いました。

嵐の中にいながら落ち着いている人は、人を動揺させるものです。波間を上下に激しくゆすぶられる船の中で眠っているイエス様を見た弟子たちのように、私たちは同僚の静かな声に驚きました。同僚が引用した詩篇第62編7節は、私にすばらしいことを教えてくれました。彼女は自分を正しく知っていて、誰に頼ればよいのかも正しく知っています。彼女の自尊心と安全は、彼女を愛し、彼女が必要とするものを彼女以上によく知っている方の手の中にあるのです。

神様にとっては、私が最善と考えることや、こうしたら神様が喜ぶのではと思ってしまうことはあまり問題ではありません。そうではなく、神様を信頼することが大切であると、詩篇の作者や私の友人は気づかせてくれました。「神様の領分をおかすことなく、神様の仕事をしなさい」。

今日も私たちは神様の御手の中にいるのです。

聖 歌 503

祈 り 神様。今日私たちに必要な愛と力のすべてがあなたの中にあること、そしてあなたが私たちと共にいることを、私たちに思い出させてください。今日誰かの嵐を受けても、穏やかでいられますように。

イエス様の御名において祈ります。アーメン。

デイビッド・レムリー

カリフォルニア州 マリブ

1月26日（金）

救 済

聖書朗読 詩篇 71：1～8

もし、そうなれば、私たちの仕える神は、火の燃える炉から私たちを救い出すことができます。王よ。神は私たちをあなたの手から救い出します。しかし、もしそうでなくても、王よ、ご承知ください。私たちはあなたの神々に仕えず、あなたが立てた金の像を拝むこともしません。 ダニエル 3：17～18

私たちは巨介事や困難な事や罪などから救済してほしいと願います。詩篇の作者は神様の救済を待ち焦がれていました。昔、この3人のヘブル人の子どもたちは神様からの救済を求めています。彼らはたとえ神様の救いがなく火の中に投げ込まれようとも、それでも神様を信頼していました。彼らは究極的には神様によって救われると知っていたのです。

数世紀後、パウロはイエス・キリストの信仰者へ向けて同じ希望について書き送っています。コリント人への手紙の15章には、神様が苦しみから救ってくださることを覚えているようにと教会全体に言っています。

希望がもてない状態になったときでも、神様は希望をくださいます！ 救済は来るのです。神様のタイミングを信頼して、神様を求める人々と一緒に待ちましよう。注意深く待つ間に、私たちは神様の愛を互いに分け合うことができるのです！

我らは主なる神の名のもとに信頼す。

神の愛はけっして裏切らない。

神の名は常に響き渡る。

我らは主なる神の名のもとに信頼す。

——スティーブン・C・チャップマン

讃美歌 530

祈 り 親愛なるお父様。試練や誘惑に会うときにはそこから逃げられるようにたすけてください。私たちはあなたがイスラエルの民に、地上や天国において逃げ道を示されたことを知っています。あなたのご意思が完遂されますように。

イエス様の御名において。アーメン。

バーリー・ロイナー

ミズーリ州 カークスビル

1月27日（土）

熟するか，腐るか

聖書朗読 詩篇 92編

彼らは年老いてもなお、実を実らせ、みずみずしく、おい茂っていきましょう。こうして彼らは主の正しいことを告げましょう。主は、わが岩。主には不正がありません。 詩篇 92：14～15

老年期をどう思いますか。退職する時でしょうか。誰かが引き継ぐ時でしょうか。休む時でしょうか。人生を楽しむ時でしょうか。長年の仕事からのストレスを忘れる時でしょうか。肉体的に衰える時でしょうか。

詩篇の作者はこれらのどれにも同意していません。かわりに彼は三つの考えを述べています。

- 老年期は、実をならす時である。
- 老年期は、みずみずしく、おい茂る時である。
- 老年期は、主が正しいこと、わが岩なること、主には不正がないことを告げる時である。

私たちの社会は、神様の子どもとして熟する必要があります。

この詩篇は安息日のための賛歌です。そのため神様を讃える多くの活動が述べられています。音楽を奏でること、神の御わざのすばらしいこと、不法者が滅びること、神の大庭で栄えることなどです。これら語りは、私たちのうちの老齢の者に話しかけながら終わります。

ですから、シニアの方々はしゃんとしてください！ みずみずしく、おい茂って神様の愛と不変性を告げましょう！ それが、年を上手にとるということなのです。

讃美歌 第二編 141

祈り 親愛なる主よ。長生きできることに感謝します。人生がみずみずしく、おい茂りますように。あなたをいつも最優先にして活動することができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

ジェス・ピーターソン
テキサス州 ラボック

1月28日（日）

尊厳を身にまとう

聖書朗読 詩篇 104：1～14

あなたは尊厳と威光を身にまといおられます。 詩篇 104：1

私たち3人兄弟は、ミズーリ州のオザーク渓谷をハイキングしていました。私たちは老齢でしたが、心は昔の小さな子どもの頃に返ったようにはしゃいでいました。

それは4日間のハイキングコースでした。4日間のあいだほとんど、誰にも会うことなく歩き続けました。本当に私たちの三人だけで神様が創造された偉大な自然を堪能することができました。

昼間は岩だらけの道を進んでいました。ミズーリの暑い太陽の下、岩でゴつゴつした小道を登ったり下ったりしていました。夜は満天の星の下、穏やかに流れる水の近くにテントを張って寝ました。私は夜中の壮大な幕屋の内に天国を見たような気になりました。そして静かに「夜になって静まり返ると、月が美しく話し始めた」と歌いました。

人生には、挑戦しなければならないときがあります。この4日間のハイキングはずっと上り坂でしたが、私たちは合間にリフレッシュできると知っていました。そして進んでいる間ずっと、神様の威光なる素晴らし景色に目を奪われていました。私たち、たった三人だけで、神様の尊大なる創造物を堪能させていただいたのです。

讃美歌 第二編 76

祈り 親愛なる主よ。あなたの威厳をどう宣言すればよいのでしょうか。昼の光の中でも夜のとぼりの内にも、あなたの力が表れています。あなたと共にいる限り、私たちは決して一人ではないことを、私たちは知っています。

イエス様の御名において。アーメン。

ピート・ナッシュ
オハイオ州 ワレン